

第8回 三重県立白山高等学校 「学校運営協議会」概要

平成30年3月2日（金）

於：白山高等学校 校長室

1 あいさつ

・ 白山高等学校長

みなさん、こんばんは。1日のお仕事が終わってお疲れのところ、本校の学校運営協議会においでいただきまして、本当にありがとうございます。開会に先立ちまして少しだけお話をさせていただきたいと思います。まず1点目ですが昨日3月1日、本校第59回の卒業証書授与式がございまして、3年生94人の生徒が無事卒業することができました。実はこの3年生ですが、昨年4月に在籍していた者が1人も欠けることなく全員が卒業できたということで大変おめでたいことではあったのですが、実は昨日、本当に予想もしていなかった名松線が止まるという大きなトラブルがありまして、本校の在校生の約8割が名松線を使って本校に登下校していることから卒業式を行うことが非常に難しい状況になりました。1本目が運休だということでしたので、2本目を待って卒業式を行おうと考えておりましたところ、2本目も運休というような連絡を頂戴いたしまして、大変困ったのですが、幸い卒業生の多くは保護者が卒業式に参列することから自家用車で送ってもらっていたということで、卒業生は結果的には全員出席する形で卒業式を1時間遅れで行うことができました。ただ、在校生については2割弱の生徒しか出席できませんでした。これについては1年生と2年生に落ち度があることではなく、名松線がストップするというアクシデントがあったということで在校生の参列という部分については寂しいところはあったのですが、全員卒業できたという喜ばしい卒業式を行うことができたことを御報告させていただきたいと思います。これが1点目でございます。続きましてもう1点目ですが、入学者選抜に係わる状況です。新聞報道でも御覧いただいていることかと思うのですが、実は本校の前期選抜の出願者数が3年連続で大きな伸びを示しております。平成28年度選抜、今の高校2年生の生徒は前期選抜に出願した人数が60名でした。普通科と情報コミュニケーション科を合わせても60名でした。それが平成29年度前期選抜、今の1年生の時には60名が78名に伸びました。それから今年度ですが、平成30年度前期選抜、来月新しく入学してくる現在中学校3年生の生徒は、78名から95名に伸びました。60名→78名→95名という勢いで出願者数が増えているということです。それから、2日前に新聞報道で御覧いただいたかもしれませんが、現在の後期選抜へ出願していただいているところでは、この後志願変更がありますので、どのような数になるかわかりませんが、普通科と情報コミュニケーション科を合わせて71名募集しているところへ72名の応募があったということで、本当に久しぶりに学校としては1.0倍を超える志願者を確保することができたということです。このような状況にあるのも、まずはもって本校が学校運営協議会を設置する学校、すなわちコミュニティ・スクールを設置していただいております、地域から応援していただいております地域の中学校が本校に生徒を送ってくれる、そして地域の事業所が本校の長期インターンシップを受け入れてくれる、そして地域の人材が本校へ外部講師として御講演や御講話をしていただけるその様子を御覧いただいております。白山高校の状況は今こんな状況

だよという形を通じて地域にメッセージを発信していただいているお陰で白山高校は安心して、安全な学習環境の中で勉強に部活動に取り組むことができる学校なんだなというふうな認識が、少しずつ地域に根付いてきたのかなと思って喜んでるところです。本日は今年1年の学校マネジメントシートの振り返りということで、本校のこの1年間の様々な教育活動の成果を御披露させていただく中で課題を見つけていただき、次年度にはその課題にどのような取り組んでいけばいいのかというあたりの御助言や御指導を賜ればと考えております。ひとつ忌憚のない御意見をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

- ・ 三重県教育委員会（橋本指導主事）

こんばんは。失礼します。遅い時間に御参加いただきまして、ありがとうございます。まずは先程、校長の方からありましたように、今年の3年生が1人も欠けずに卒業できたということでおめでとうございます。これも先生方の日頃の御指導とここに御参加いただいた運営協議会の先生方のバックアップがあったからかなと思っております。本当にありがとうございます。これも先程言われたことなのですが、来年度の入学希望者数を我々も新聞報道で見ると、年々増加かなと自分は感じています。先程の前期選抜で言えば1.5倍という数になっていたりしますので、やはり白山高校の日頃行っていた活動が少しずつ地域に広がり、みなさんに伝わってきているのかなということを感じました。自分も今年この運営協議会に参加させていただいているのですが、1回1回の活動を見せていただきましたが、その活動を振り返ってみると、ずいぶんその活動がつながってひとつ線になってきたかな、だから今の状態があるのかなということを感じます。是非今日の報告を受けていいことも大切なのですが、ここをこうすればもっとよくなるよと、スパイラルアップできるような御意見を是非出していただけるとありがたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

- ・ どうもありがとうございました。それでは、第8回学校運営協議会に入らせていただきます。本日の議長についてですが、吉田会長をお願いしていましたが、どうしてもお仕事の都合がつかないということで急きょ御連絡を先程いただいて、急なことで本当に申し訳ございませんが、岩崎副会長に先程お願いさせていただいたところです。岩崎様よろしくお願いいたします。皆さま方、よろしいでしょうか。それではよろしくお願いいたします。

- ・ 本日、吉田会長が欠席ということですので、議長をさせていただきます。よろしくお願いいたします。一昨日の2月28日に本校の同窓会組織である愛千野会に、第59回卒業生として94名が御入会いただきまして、累計で10,160名という大きな組織に発展してまいりました。この同窓会も在校生にも意味あるような活動をしていきたいなというように思っております。また、本日は初めての議題として県外からの県立高校への入学志願制度ということで、各報道機関でいろんな報道がされていますけれども、まだ確定はしていないと聞いています。本日、この議案についても、よろしくお願いいたします。それでは始めに、「2 報告事項」について、事務局、よろしくお願いいたします。

2 報告事項

(1) 各部会報告（概要）について

- ・ 地域交流部会（第6回）

- それではお手元の資料にしたがいまして、よろしくお願いたします。第8回の学校運営協議会を始めるに当たって、第5回に第2～4回までの会議概要について確認をさせていただきましたが、本日は、それ以降に開催した各部会の会議概要について、確認をさせていただきたいと思っております。お手許の資料にある第6回の会議概要を御覧ください。簡単に御説明をさせていただきます。まず第6回ということで文化祭の様子を見ていただきました。非常に天候に恵まれたということで、地域の方からも楽しんでよかったなどのお声もいただいております。様々な改善点を昨年度頂戴いたしまして、それについて本年度できる限り、可能な限り改善させていただいたということが、校長先生の御挨拶の中にもあります。先程も話題になっていました県外中学生が受検することのできる高等学校として現在検討の対象となっているとの報道云々とありました。この時点、11月11日現在では対象云々という段階でした。活性化協議会の方で最終的にはやるかやらないかの御意見を頂戴して、その御意見を踏まえて方向性を定めるということにこの段階ではなっています。最終的に本校の意志はこうですよということを県教育委員会の方に報告させていただきます。そして最後に、それを踏まえて実施するかしないかを決定するのは県教育委員会となっています。詳しくは後程また申し上げます。
- 協議事項といたしましては、文化祭についてのいろいろな意見交換をしていただきました。様々な御意見とか感想を頂戴いたしまして、総じて活気があった文化祭で良かったと感想をいただいています。いくつか改善点、注意すべき点もいただきまして、それについては次年度に向けて改善を図っていききたいと考えているところでございます。チケットの件ですが、昨年度は採算をあまり考えずに販売をしました。今年度もそれを踏襲しているはずですが、なぜか足りなくなりました。ということで食べ物がないという状況でした。チケットを地域の方がたくさん買ってそれを家に持ち帰り、お昼ご飯にしたり、それを地域の方にお配りしていたようです。ただ足りなくなって御不便や御迷惑をお掛けしましたが、地域の方には一定喜ばれたのではないかと考えています。今年度から武道場に展示を変更したことも書かさせていただいています。その他に、文化祭のことについて、御意見を賜ったことを書かせてもらっていました。中間報告として、地域と連携した取組も書かせていただいています。本日、多くの報告や協議事項がございますので、後でお読みいただければと思っております。

(2) その他

- なければ「(2) その他」として資料を御覧ください。保護者の転住を伴わない県外からの県立高等学校への入学志願制度についてです。2月23日に開催されました活性化協議会におきまして検討を行った上で、御了承をいただき、県教育委員会へ報告いたしました。県外からの入学志願制度について、事務局から報告をお願いします。
- 今現在といたしましては、本制度を実施するということで県教育委員会の方にお話をさせていただいているということで、2月23日の活性化協議会で御検討させていただいて、御了承いただきました。こちらについて現在の様子をここで御説明をさせていただきます。活性化協議会の資料をそのまま使っていますので、御覧ください。
- 「保護者の転住を伴わない県外からの県立高等学校への入学志願制度について」ということですが、通常、県外から県内の高等学校を受検する場合には、いわゆる一家転住と言いますが、一家そろって保護者と一緒に本県においていただいて、本県の高等学校を受けていただくのですが、今回は保護者の転住を伴わないという件

です。「入学志願制度（案）について」として、膨大な情報量ですが概略についてお話をさせていただきます。それを踏まえて、どのような検討に入ったかを報告させていただきます。「保護者の転住を伴わない県外からの入学志願制度の考え方について」です。本県では、地域とともに活性化に取り組んでいる高等学校や、部活動を学校の特色として活性化を図っている高等学校がありますが、本校がそれに当たります。それから今後本県の少子化が進むであろうことも書かれています。少子化が進んでいく中で、学校は小規模になっていきます。多様な学習機会を与えるとこの観点からも、どうしたらよいかということになってきます。県外からもたくさん受検していただくと、県内の中学生の進路の方にも影響が出かねないという懸念もございまして。一定の歯止めということで、県外からの入学者数の上限を設けたということで、この制度を実施するについては、平成31年4月に高校入学の生徒、ちょうど1年後の現中学2年にあたる学年になろうかと思っております。これについての検討ということになります。検討の対象となる学校（検討対象校）について、3種類の学校が上げてありまして、本校は小規模校にあたり、学校別活性化協議会を設置している1学年3学級以下の学校ということになります。検討対象校として全部で25校が上がっています。その中の小規模校にあたる学校の10校に、学校別活性化協議会を設けております。その学校ということで、白山高校が上がっています。新聞報道で白山高校が最初に先陣を切っているように見られるのですが、実は北からの順番で新聞報道がされています。誤解を与えかねないような報道が一部にあります。県外から入学できる生徒の上限が示されていますが、入学志願できる入学者選抜には再募集は対象にはしないということになっています。また、生徒の安全・安心の確保ということで見守りのできる保証人を確保しなければならない。また、担当教員を定めて年に3回は家庭訪問し、状況を把握するということになっています。保証人の役割についても書かれています。志願学区域外に住居する県内中学生の入学志願者についての志願学区域外受検については本校は該当しません。平成31年度以降に実施する入学者選抜における検討対象校の考え方については、今後5年継続ということになります。なお、該当の高等学校では、制度の実施について、PTAや地元の中学校、活性化協議会等の意見を聞いたうえで、2月下旬までに検討をして、制度を導入する高等学校は、平成30年度実施の入学者選抜から実施することとしていますが、今後検討の場合には平成31年度実施以降に導入することも可能としています。活性化協議会で御検討をいただいた結果、本校において、本制度を実施するということを決めていただきました。趣旨については入学志願者を増加させ、学校行事や部活動などの教育活動を充実させたいということです。県外から入学できる生徒数については、前期選抜では普通科が上限2名、情コミ科が上限2名、合計の上限が2名となります。後期選抜では普通科が上限4名、情コミ科が上限2名、合計の上限が4名ということで県内の志願者に対する一定の配慮がなされています。生徒の安全・安心を確保する方策については、学校の体制として生徒からの相談担当者は、担任または部活動顧問としています。また、家庭訪問は相談担当者が年3回（7月、12月、3月）行い、生活状況を把握することになっています。保証人については入学志願者の保護者からの相談に応じ、管理職からこれまで本校

生徒の保証人をしていただいた方の情報を提供するという形になっています。このような形で活性化協議会でお決めいただき、県教育委員会に報告させていただいています。先程からも申し上げますように、最終的には県教育委員会の決定を待っているという現状です。以上が報告です。よろしくお願いいたします。

- ・ ありがとうございます。今年度は県で大体何名ぐらいでしたか。
- ・ 実施については、どうでしたか。
- ・ 実施は平成31年2月の前期選抜からです。今、動いている選抜は、この制度の対象にはなっていません。この制度は今の中学2年生からが対象となります。
- ・ 今、副会長からお話のあった件ですが、県外から入学した生徒ですが、平成29年5月11日現在で、全日制の県立高校55校のうち49校に323人が在籍しているということで、その中で他の県教育委員会との覚書等により、保護者が県内に居住する必要のない生徒、本校で言えば奈良県の御杖村から通学している生徒がそれに当たるのですが、そのような生徒や県外から転校してきた生徒が85人いますので、それらの生徒を除く238人のうち8校116人の生徒の保護者が県内に居住していない状況が5月11日現在の状況です。1・2・3年を合わせての状況です。また今日、県立学校校長会議がありまして、その場で初めて出てきた話題ですが、小規模校10校がありますが、この中で、白山高校・南伊勢南勢校舎・南伊勢度会校舎・志摩高校・紀南高校は全て普通科のある学校です。活性化協議会を実施している小規模校の内、普通科のある学校については、平成31年度選抜から前期選抜の入学定員の割合を現在上限30%のところを上限50%まで拡大するということを検討しており、これを高校教育課が今後教育委員会の方へ提案する予定であるという話しが今日、ありました。本校が現在の30%のまま置いておくという選択肢もありますし、前期選抜で高い倍率になっていて不合格になった中学生が後期選抜でもう一度受検していただいて合格している現状を見て、どうせ合格するのなら前期選抜で不合格にする必要がないのではないかと考えて、50%まで上限を上げることも今後校内で議論し、また、地元の中学校、地域の中学校からもいろいろな御意見を受け承りながら、意志形成をしていかなければならないというように今日思ったところでした。とは言うものの、まだ決定ではありません。高校教育課がそういう方向で教育委員会に提案しますという情報が今日入りました。
- ・ 逆に、三重県から他県の高校に行っている生徒は把握できていますか。
- ・ 把握はしておりますが、今そのデータを持っていないですが、大量に抜けています。わかり易いところでは、桑名にお住まいの中学生は愛知県の私学へ行くことは簡単なことですし、今日、紀南高校の校長からは東紀州の子供たちは70人くらい近大附属や新宮にある高校に抜けていくという話しも聞きましたし、私は今住んでいるところが名張市なんですけど、名張の子供たちは奈良や大阪に中学校段階から抜けているところがあります。県外に流出するのは地域的にもありますし、スポーツで自宅から通うのではなくて寮や下宿をして遠い学校に通って、県外に抜けていっている生徒も、非常に多くあるという話しは聞いています。
- ・ 県境に近いところは、県外に行く可能性は高いですね。
- ・ 県外の私学に、通学ができますのでね。

- ・ この辺からは無理でしょうね。
- ・ この辺からも近鉄沿線であれば不可能ではないかな。
- ・ もし本校が前期選抜の普通科の定員を50%まで拡大するという事になったら、県外から入学できる前期選抜の上限が変わってくる可能性があります。今日3月2日の校長会でその話しが出てきたので、その情報を知らないままの数字ですので、今後それに対してどう対応するのかが、教育委員会の方から指示なり、何なりがあると思います。
- ・ ありがとうございます。今、事務局から報告をいただきました県外からの入学志願制度については、最終的に県教育委員会が決定することになっていますので、よろしくお願ひします。それでは、「その他」として、何かございませんか。
- ・ 質問ですが県外から生徒を入れる場合ですが、学校の役割のところ、生徒が迷わず相談できるよう、担当教員を定めることと書いてありますが、教員の加配はどうですか。
- ・ 全くありません。
- ・ 今でも大変ですよ。担当教員を決めるのに、現場としては混乱が予想できると思いますが。
- ・ 現状ですが、現在、県外から入学した生徒として一定整理されている生徒が3名います。内2名は硬式野球部の生徒です。これについては硬式野球部の監督が担当教員として面倒を見ておられますので、ここらあたりについてはそれほど大きな負担にはなっていないと思います。もう1人はその生徒のお母さんが、御自身の御実家に住民票を移されて、生徒本人も住民票を移して白山高校を受検したという部活動とは何にも関係のない話しです。なぜそんなことになったのかというと、その子のいとこが白山高校の生徒で白山高校は良い学校だよというように紹介して、三重県に居住していないと白山高校には行けないということでお母さんが住民票を移されて、現在、おじさんとおばあさんの家から通っている状況があります。これについては担任の先生が、普通の一般的な家庭訪問の一環で見守りをしているというような状況があります。今後県外からの入学ということで我々が現在予想していることが、もしあるとして、予想していることは基本的には硬式野球部の生徒かなというところ。県境の地域ではないので一定、目的意識を持って入学してくる生徒と考えると硬式野球部の生徒ということになってくるだろうと考えています。そうなれば顧問がそこはしっかり面倒を見てくれると想定しているので、それほど学校全体に大きな負荷がかかるようには今のところ考えてはいません。
- ・ よろしいですか。他に、特になければ、協議事項に入らせていただきます。事務局、協議事項「(1) 平成29年度地域と連携した白山高等学校の取組について」をお願いします。

3 協議事項

(1) 平成29年度地域と連携した白山高等学校の取組について

ア 第7回学校運営協議会（地域交流部会）

1月23日（火）11：00～ こんにやく講習会

- ・ それでは、特に資料は御用意していませんが、第7回の地域交流部会について、御意見や御感

想をいただきたいと思います。第7回は本協議会の委員であり、「藤田こんにやく」様を経営されている藤田委員の御指導による「こんにやく講習会」でした。例年1月か2月にやっていたものを公開していただくということで、学校運営協議会として位置づけをさせていただきました。当日、御見学いただいた委員の方より、御発言をいただければ幸いです。よろしくお願いします。

- ・ 私もその日に見学させていただいたのですが、こんにやく作りについて私も小さい頃に作った経験があります。正月の餅をついた後、こんにやくを芋から作るということで作った経験があります。今回は簡略化されていましたが、子供たちにとってもなかなかできない体験で、子供たちも芋からこんなこんにやくができるのかとびっくりしたと思います。また、こんにやくからできるいろいろな加工品も出てきて、私も「こんなもの食べたことないな」、「こんなんでできるのだな」と新しい発見をさせていただいたのですが、まず何より子供たちが一生懸命やっていたということで良い研修会だったと感じました。
- ・ 私も参加させていただきまして、先程言われたように本当に生徒が真剣に楽しい表情でみんなが活動していたなというのが一番の感想です。藤田さんのこんにやくづくりももちろんですが、藤田さんが自分のことをいろいろ話されて、生徒はそういう話しも聞かせていただいて、良い時間を過ごせたのではないかなと思いました。先生からだけ学ぶのではなく、地域の方から学べるのは良いことだと思いました。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 特になければ、次に入らせていただきます。事務局、「協議事項（1）平成29年度地域と連携した白山高等学校の取組について」の「その他」、お願いします。

イ その他

- ・ では、御覧いただく資料として本年度、白山高等学校が地域連携を推進していく中で、実施した行事や部活動等の取組をまとめさせていただきました。ここでは、主なものを取り上げ、御報告いたします。写真の方はコミュニティ・スクール・ニュースを落とし込んだ形になっています。なお、こちらのコミュニティ・スクール・ニュースにつきましては、左上に「回覧」となっていますが、白山総合支所の地域振興課を通じて、各組単位の回覧をさせていただいたということになっています。見にくい写真の部分につきましては、「回覧」の方を御覧いただければと思います。
- ・ 資料を参照してください。
 - 4/2 君ヶ野ダム公園さくらまつり（茶道部）
 - 6/8 障がい者福祉施設の理解に係る講習会（福祉類型）（吉田学校運営協議会会長）
 - 6/11 家城地区クリーン作戦（110名参加）
 - 7/15 地元中学校との高校野球応援（白山中・美杉中）
 - 8/9・10 特別養護老人ホーム（つつじの里・笑美の里）での慰問演奏会（吹奏楽部）
 - 9/30 霧山薪能と茶会（美杉・北畠神社）（茶道部）
 - 10/14 一志病院まつり健康のつどい（茶道部）
 - 10/16 3学年普通科総合的な学習の時間「栽培技術」の菊配付（県庁へ2カ所：正面玄関と教育長室）

10/28・29（29は中止） 産業教育フェアでの地元連携による開発商品の販売（白山フランク他）

10/31 家城小学校の遠足（スタンプラリー）

11/11 白山高等学校文化祭（地域限定公開）

11/19 家城地区文化祭（美杉中との合同演奏会）（吹奏楽部・茶道部）

1/23 こんにやく講習会（藤田こんにやく）（藤田学校運営協議会委員）

2/24・25 スイーツフェスタ（茶道部）

- ・以上が主なところでございます。よろしくお願いいたします。
- ・私も家城地区の文化祭に行きましたが、ブラスバンドですが、非常に風が強くて、寒くて、楽譜も飛んだりして大変でしたが、一生懸命に演奏していただきました。みんな喜んでいただいたと思います。来年度から体育館の中でするなど考えるように要請しました。
- ・何かこのことについてありますか。
- ・長期インターンシップの来年度の予定については。
- ・調整中です。少し増えます。
- ・今、生徒の最終的な調整に入っているところです。
- ・ないようでしたら、少し補足をさせていただきます。今、副会長の方からありました長期インターンシップの受け入れ事業所についてですが、まずもって青山委員の津商工会様が大変多くのところに声掛けをしていただき、その成果が非常に顕著であったということ、それから他の学校運営協議会の委員の方にも紹介をしていただいた結果として、6事業所に長期インターンシップの受け入れの打診に行きました。結果として5事業所で新たに受け入れていただけることになりました。これも学校運営協議会の支援のお陰かなというふうに感謝しております。それから、今事務局の方から報告のありました地域と連携した白山高校の取組ということで、写真入りで紹介してもらったのですが、これはダイジェスト版です。もう少し細かい数字の部分について、紹介させていただきます。白山高校はコミュニティ・スクールということで地域住民等から支えていただいている学校で、地域の方に学校においていただいて、講師として白山高校の生徒に対して御講演をいただくということをとくさんやっております。これについては本年度地域の方においていただいて、講師をしていただく教育活動として10件以上と目標を立てていたのですが、実績としては18件そういうことができました。もちろん先程ありました藤田委員のこんにやく講習会もそうですし、吉田会長の障がい者理解の講演などもございますし、その他たくさんの方に外部人材としておいでいただいて、御講演をいただいております。それが18件ございました。それから事業所とか関係機関から御支援をいただいて、本校が教育活動を行った例としては、もちろん3年生普通科の年間を通したインターンシップでありますとか、2年生全員の夏季インターンシップというものもあるのですが、それ以外にも例えば、メナード青山リゾートでテーブルマナーを学んだりとか、あるいは一志病院で介護体験をさせていただいたりとか、白山町の消防署で普通救命救急の講習を受けさせていただいたりとか、そのように地域事業所に御支援いただいている教育活動は5件以上という目標を立てたのですが、結果的

には12件の御支援をいただくことができました。最後です。やってもらってばかりでは、支えてもらってばかりではだめなので、win-winの関係になるためには、白山高校自身も汗をかかなくてはいけないということで地域の事業所とか関係機関とかと連携して、地域住民との交流やボランティア活動に取り組むなど、先程紹介のありました文化祭や薪能とか、そのようなものもたくさんあります。そのような地域住民との交流ボランティア活動ということで10件以上を目標にしていたのですが、結果として24件地域との交流を行うことができました。もちろん菊の配付なども含めてですが、福祉類型などはボランティアということで普段お世話になっている一志病院、白山作業所、笑美の里、やまゆりの里にボランティア活動に行ったり、あるいは生徒会は毎朝1日も欠かさず家城駅から本校までの通学路の清掃をやってくれています。それから吹奏楽部、茶道部、商業部の活動と様々なところでの交流であったり、ボランティア活動をさせていただいています。今申し上げたのは1月末現在の数字で、1月以降何件かさせていただいているので、最終確定値はもう少し増えるのかなというように思っております。

- ・ ありがとうございます。では、協議事項「(2)平成29年度学校マネジメントシートについて」をお願いします。

(2) 平成29年度学校マネジメントシートについて

- ・ 今年度も年度末となりましたので、委員の皆さまに、学校評価について御意見等をいただくこととなります。本校の学校マネジメントシートは、年度当初にこの学校運営協議会で御承認いただいています。目指す姿ということで(1)目指す学校像、(2)育みたい児童生徒像、ありたい教職員像となっています。中長期的な重点目標も設定しております。それが、中期ビジョンとなります。具体的には本年度の行動計画と評価というところになるかと思えます。戻りますが現状認識というところですが、たとえば学校生活アンケートでは、7割以上の生徒が学校生活に満足している(とてもそう思う20%、まあそう思う56%)ものの、発展的な学習や規範意識の向上に期待する声がある。括弧の中にある字が小さいものがその文章の根拠となる数値になっています。これらにつきましては運営協議会の委員のみなさまにも御協力いただきましたが、様々アンケートを取りながら数値を出して現状認識をしています。さて、本年度の行動計画と評価になります。真ん中のところに取組内容と指標を設定しております、右側に結果ということになります。

(1)教育活動と(2)学校運営等と大きく2つに分かれておまして、それぞれ同じような構成になります。これらについては各分掌で対応しております、こちらについては各部・各学年で分掌マネジメントシートを作っておまして、その中から主だったものを抜き出したという形になっています。本日、いろいろと御意見をいただいて、最終的に学校マネジメントシートの策定ということで、実は最後の所が空欄になっておりますので、今日いただいた御意見がここに入り、学校関係者評価と次年度に向けた改善策について埋めていくというのが本日の作業になりますので、いろいろと御意見をいただきたいと思えます。また各分掌の主任も出席しておりますので、具体的な質疑応答については各主任から回答させていただくことになろうかと思えます。最終的に埋めたものについてはその後、再度、学校で整理をして白山高等学校のホームページにおいて公開する予定ですので、御了承願います。

- ・ それでは、平成29年度学校マネジメントシートについて、御提案させていただきます。

- ・ 「4 本年度の行動計画と評価」を御覧ください。「(1) 教育活動」についてです。確かな学力と規範意識の向上について大きく3つ上げてあります。

<<取組内容・指標>>

- (1) 国語・数学・英語の基礎を向上させるために、「ワンウィークトライアル」を活用した授業を実施する。

活動指標：「ワンウィークトライアル」を活用したそれぞれの教科の授業実施回数
8回以上

<結果>

1月末 活動指標：国語7回、数学8回、英語10回実施

成果指標：基礎学力診断テストの学習到達ゾーンを1ゾーン向上させる生徒の割合
30%以上

<結果>

成果指標：1年生16.2%、2年生31.5%

<<取組内容・指標>>

- (2) 就職試験を控えた3年生の一般常識に関する学力を定着・向上させるために、週末課題を実施する。

活動指標：週末課題の実施回数9回以上

成果指標：校内一般常識テストの平均得点率40%

<結果>

活動指標：9回、成果指標51.0%

<<取組内容・指標>>

- (3) 生徒の基本的な生活習慣を確立するとともに、規範意識・社会性を育成するために、登校遅刻・授業遅刻の防止に取り組む。

活動指標：登校指導実施率100%

成果指標：前年比10%減

<結果>

活動指標：100%

成果指標24.4%減

登校遅刻 1,021件(H28) → 653件(H29)

授業遅刻 743件(H28) → 685件(H29)

【改善課題】国語・数学・英語の基礎学力については、計画していた取組はおおよそ実施することができたが、1年生の学力を目標どおり向上させることはできなかった。今後は、具体的な取組を工夫・改善する必要がある。

- ・ 「(2) 学校運営等」についてです。よろしく申し上げます。

● 地域とともにある学校づくりの推進について

<<取組内容・指標>>

- (1) 学校の一層の活性化を図るために、学校運営協議会を通じて、地域の声を生かした学校づくりに取り組む。

活動指標：学校運営協議会の開催回数年間7回以上

成果指標：学校運営協議会からの具ア知的な支援件数3件以上

< 結果 >

活動指標：7回

成果指標：6件 講演会講師1件、広報誌への掲載1件、受入事業所紹介3件、
講習会 講師1件

< 取組内容・指標 >

(2) 卒業生が地域に定着して活性化に貢献するために、地元事業所を積極的に訪問して企業ニーズを把握し、キャリア教育の推進、進路指導の改善に取り組む。

活動指標：生徒の主な通学圏にある事業所訪問年間70件以上

成果指標：10月末現在の就職内定率80%以上

< 結果 >

活動指標：29件、2月に69社訪問予定

成果指標：90.2%

● 生徒のための教職員組織づくりの推進について

<< 取組内容・指標 >>

(1) 生徒の多様なニーズにきめ細かく対応するために、各種アンケートを実施し、積極的に情報を収集して改善に取り組む。

活動指標：各種アンケートの実施回数年間10回以上

成果指標：アンケートをふまえた改善活動年間3件以上

< 結果 >

活動指標：11回実施

成果指標：1件

<< 取組内容・指標 >>

(2) 教職員の人材育成を図るとともに、業務の改善及び効率化を推進するため、校内研修(OJT)の実施に取り組む。

活動指標：校内研修の実施回数年間5回以上

成果指標：校内研修における職員満足度80%以上

< 結果 >

活動指標：8回実施

成果指標：89.0%

< 取組内容・指標 >

(3) 教職員の働きやすい環境づくりを進めるために、次の①～③により、総勤務時間の縮減に取り組む。

① 定時退校日の設定 (月1回)

② 部活動休養日の設定 (週1回)

③ 会議スマートルールの適応

成果指標：① 定時退校日に定時退校できた教職員の割合80%以上

② 部活動休養日に休養できた部活動の割合80%以上

③ 60分以内に終了できた会議の割合50%以上

④ 1人あたりの月平均時間外労働時間前年比15%減

⑤ 1人あたりの年間休暇取得日数前年比1日増

< 結果 >

成果指標：① 85.7%、② 95.7%、③ 62.4%、④ 37.2%、
⑤ 5日増

【改善課題】生徒の多様なニーズにきめ細かく対応するためにアンケートを11回実施したが、アンケート結果をふまえた改善活動ができなかった。今後は、より具体的なニーズを把握するために、設問を工夫・改善する必要がある。目標3件が1件ということでこのあたりが改善課題になる。

- ・ それでは、各分掌の先生方で、補足説明等があれば、お願いします。
- ・ 先生方で何かありますか。なければ委員のみなさまから、どうぞ。
- ・ 登校遅刻とか授業遅刻について数字は確かに減っていると思うのですが、まだまだ600件とか出てくるということは同じ子が遅刻ばかりしているのですか、それとも全体的に遅刻してしまうような環境なのですか。名松線の遅延などはこれには入らないのですね。
- ・ 名松線の遅延は入りません。遅刻指導は10回、15回、20回、25回にしているのですが、今のところ25回以上した生徒は3、4人くらいです。
- ・ 半分くらいになってほしいなという気持ちでいます。ありがとうございました。
- ・ 1年生の学力を目標通り向上させることができなかったことの原因については、どうですか。
- ・ 正直把握できていません。実施時期をもう少し検討してみたらどうですかという意見はあります。また、ワンウィークトライアルの活用方法も考えなければならぬと考えています。成績に含むということも話しはしていますが、そのことを1年生がどのように感じているかも影響しているのではないかと思っています。もう少し国数英の担当者と相談したいと思います。
- ・ 2年生と1年生のとらえ方が違うのかも知れません。授業を受ける態度にも関係しているかも知れません。
- ・ 部活動は、週に1回休養日となっていますか。
- ・ 部活動の休養日を週1回設けましょうという目標を上げてあるのですが、成果のところにもあるように、95.7%が休養できたということで100%ではないということです。
- ・ 野球部はしていますか。
- ・ できていないですね。実はこれもまだ教頭先生にお見せしていないのですが、今日、部活動のガイドラインが県立学校長会で示されまして、パブリックコメントも終わっているのです。これがほぼそのままの形で年度末に認められて、次年度出てくる予定です。その中では高等学校で部活動の休養日を週1日として、原則として土曜または日曜となっています。平日の活動時間は3時間以下、休日の活動時間が4時間以下、土日に休めなかった場合はその週の内にできる限り別の日を休養日としなさいというようなところですが、全て原則というようには付けていただいています。さすがにですね、5月や6月にそんなことを言っていたら、例えば野球部だったら7月の夏の大会に向けて間に合いますか、絶対に間に合わない状況があります。そのあたり今日もらってきた資料をしっかりと読み込んで、学校の中で部活動の方針

を作りなさいという指示が出たので今後方針を作って、その方針により部活動の休養日を設けなければいけないのだろうなというようには思っています。

- 働き方改革からいくと、部活動によって先生の携わり方が大変わりますね。たとえば野球部の監督は大変時間をさかなければいけないですが、あんまり活動していない部活動の先生は楽だなという見方もありますが、先生の中で忙しい人とそうでない人がいて、先生の間でギャップがあるのではと思いますが、そのあたりは難しいですね。
- 部活動は本当に難しいです。
- 新年度は野球部が50人くらいになると聞いているのですが、支援についてはどうですか。
- 活性化協議会での御意見を踏まえて、白山高等学校部活動活性化プロジェクトを立ち上げました。その中で平成30年度と31年度について白山高校として特に活性化を図る部活動をどこにしようかと検討した結果、この平成30年度と31年度の2年間については野球部に特に焦点を当てて、活性化しようということになりました。その結果、どのような形で活性化を図るのかということ、1つは広報活動、生徒の募集ですね。白山高校の野球部は一生懸命頑張っているのも、もし白山高校で野球をやって東海大会なり甲子園なりを目指したいという生徒がいたら、是非受検してくださいということを校長・教頭でしっかり広報活動をやろうというのが1点、それから、財政的支援ということで、ひとつはPTAの方から財政的支援をしてもいいのではないかとということで、PTA役員会では現時点で了承されている件がございます。これについては5月のPTA総会でお認めいただいてその後、財政的支援をする予定です。最後が顧問なのですが、可能な範囲で野球部の部活動顧問をできたら1人は増員できないかなという検討はしています。そこが支援していくところかなと思います。
- ありがとうございます。最後に、「改善課題と次への取組方向」について、事務局からお願いします。
- 最後になりますが、本年度の行動計画と自己評価結果については、先程報告をさせていただきました。そこで、これを踏まえて、改善課題と次年度に向けた改善策について、御意見等をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
- それでは、「教育活動についての改善策」について、御意見等をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- 少し戻りますが、アンケートの結果を踏まえ改善活動を年間3回以上で、結果の成果指標が1件ですが、具体的にどういうことができたのかを教えてください。
- アンケートの中に以前からバスの増便というものがあつたのですが、活性化協議会のお力でバスの増便が可能な形になってきたというところを、1件上げさせていただきました。
- 少し紹介させていただきます。今少し話題になった件ですが、登下校における環境改善ということで本校までのコミュニティバスが近鉄榊原温泉口駅から一志病院あるいは白山高校前まで走っておりまして、現行では榊原温泉口駅を7:50に出て、一志病院前に8:15、白山高校前に8:16に着くというバスがあるのです。

が、このバスが平成28年4月当時は小型バスだったのですが、生徒がすごい状態でぎゅうぎゅう詰めだということで苦情もありましたので、教頭先生からお願いしていただいて中型バスに代えていただくことができました。とはいうものの中型バスのサイズは小型バスと同じサイズで座席で工夫しているだけの代物で、さらに現在もう生産されていないバスで、これが故障したらたちまち止まるということで、小型バスに戻ってしまうということになり、修理が不可能になった時点でもうどうしようもなくなるということでした。さらに先程も申し上げましたように、本校への志願者が増えるにつれて硬式野球部の生徒が増えて参りました。本校の生徒の約8割は名松線を利用して登下校している状況がありますが、そうすると硬式野球部の生徒が名松線を使って下校すると練習時間の終わりが早くなる。もっと強くなりたい、練習したいという生徒はあえて自転車で榊原温泉口駅から来る。榊原温泉口駅からなら近鉄の本数も多く、遅くまで練習できるという生徒が増えているのです。とはいうものの雨が降ると自転車でカップを着てというのは厳しいですから、どうしてもバスを使いたい。となると完全に乗れなくなるという状況がだんだん進んできました。そういう保護者からの苦情も多く受けるようになり、何度か現状確認のアンケートをとらせてもらいました。そのアンケートの結果を持って、白山総合支所の地域振興課といろいろな相談をしていたのですが、なかなか難しいということでした。昨年度末に活性化協議会を立ち上げるにあたって、津市の交通政策課長に委員として入っていただくことができ、交通政策課からの依頼を受けて何度も教頭先生の方でアンケートを取っていただいて、現状と課題をやりとりする中で、次年度平成30年4月1日より、榊原温泉口駅7:22発で一志病院前7:39着と、もう1本榊原温泉口駅8:05発で一志病院前8:30着というバスの2本に増便していただいたことは、大きな今年度の成果だと思っています。これで部活動をしっかりやって、それほど時間を気にせず帰ることができる生徒が増えるし、雨の日の不都合な状況も避けられるのかなということで、成果として小さく1件と書いてあるのですが、この1件は大きな1件だったということをご報告させていただきます。

- ・ 逆にこういうことを改善したかったが、できなかったことはないですか。それが来年度の課題につながっていったりすると思います。
- ・ アンケートの設問の仕方を検討して、書きやすいアンケートの作成が課題だと思っています。
- ・ 次年度に向けた改善策について、御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
- ・ 少し戻って申し訳ないのですが、教育活動についての改善策と学校活動についての改善策を1点ずつ御紹介させていただきます。教育活動についての改善策ということで本年度活性化協議会の方でいろいろな取組をする中で、1つはソーシャル・スキル・トレーニングの授業を構築するということを検討しました。今年度、お試し授業を1年生について6回実施して、一定の成果と課題が検証できたので、次年度以降はそのソーシャル・スキル・トレーニングを「総合的な学習の時間」の中で位置づけて、学力向上を図りたいということがあります。これは教育活動について

の改善策の1つです。それから今年度何回か、教育課程委員会を持ちまして、授業のユニバーサルデザイン化ということに取り組みました。白山高校では座学の授業であろうと、実習の授業であろうと全て同じパターンで授業をして、生徒が次はどういう流れで教員が指導するのかということがあらかじめわかるような授業のユニバーサルデザイン化というのを図りました。それを平成30年度は実践することによって、より生徒が50分の見通しを持って授業に取り組めるようにします。これで安心して学習活動に取り組むことができるように、ということをやります。3点目ですが、本校は何年か前から朝の学習、朝学をやっているのですがほとんどが国語、あと数学と英語が少し入っていた状況があったのですが、今年度さらに国語、英語、数学に加えて、地歴公民科で教材づくりに取り組んで何回か試行をさせてもらいました。次年度、国、数、英に加えて地歴公民の朝学が入ってきて、これも1つ学力向上の取組として、新たに実施する方向になっています。学力向上でやるという方向になっているのが、今の3点でございますので紹介をさせていただきます。

- ・ 学校運営の改善策として教職員の働きやすい環境づくりということで、働き方改革というの也被言われていますが、さらに定時退校日とか部活動の休養日、会議のスマートルールに加えて、より一層充実させなさいということが、来年度項目が増えるようですので、それについては県立学校長会議の資料を見ていて、そういう取組も必要になってくると思います。
- ・ 続いて、協議事項「(3)平成30年度学校運営協議会について」です。
- ・ そこに入る前に、今いろいろと御意見を頂戴したところですが、最初にも申しあげましたように、最終的に作業を詰めていく作業を学校事務局でさせていただきますので、よろしくお願いいたしますと思います。最終的なものは、白山高等学校のホームページに上げさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(3)平成30年度学校運営協議会について

- ・ 来年度の学校運営協議会についてですが、平成29年度より3期目になります。本年度が1年目で、来年度はその2年目となります。委員の皆さまには、3期目の2年目として御支援を賜ると思いますが、よろしくお願いいたします。また、来年度につきましても、いろんなことを考えて、御参加の御案内もさせていただこうと考えていますので、よろしくお願いいたします。これで、本年度の学校運営協議会は最後となりますので、時間も押していて恐縮ですが、最後に、お一人ずつ1年を通じての御感想を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 毎年思うことなんですが、本当に私がここに参加させていただいていいのかということも反省しています。ただ、当初から気になっていたことが1つあります。先生方の勤務時間について本当に大変だなと思いつつ、ずっときています。今回この中でマネジメントシートに具体的に出てきたのは非常に良いことなんだろうと思っています。もちろん政府の働き方改革だとか、生産性の向上とか言われているので、その流れに沿ったものと思いますが、さらにもっと先生方の本来の意味でのいわゆる聖職と言われるような本来の意味での勤務をしていただけるとありがたいかなと、いつも思いながら先生方には頭が下がる思いです。次年度もよろし

くお願いします。

- ・ 協議事項「(4) その他」ですが、特になければ、これで協議事項は終わりにさせていただきます。それでは、事務局、連絡事項について、お願いします。

(4) その他 . . . 特になし

4 連絡事項

(1) 次回の日程について

- ・ 5月8日(火) 18:00～ 全体会議(会議室)

連絡事項として、「(1) 次年度の日程について」ですが、事務局といたしましては、5月8日(火)を考えていますが、活性化協議会などの兼ね合いもあり、県教育委員会など関係機関と調整をさせていただいた上で、決定しましたら委員の皆さまには、改めて御案内申し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(2) その他 . . . 特になし

- ・ 連絡事項「(2) その他」特になければ、連絡事項は終わりにさせていただきます。それでは、以上を持ちまして、第8回学校運営協議会を終了いたします。会議の進行について、御協力いただき、ありがとうございました。